

# ひろしま WENET

広島市女性団体連絡会議 広報紙 第26号 2008.11.30

## 目次

・ヒロシマ 平和の灯のつどい (報告)	1
・碑めぐり、キャンドル立てづくり	2
・日本女性会議2008 とやま に参加して(報告)	3
・WENETよりおしらせ	4

## ヒロシマ 平和の灯のつどい



提供：読売新聞社

～今年で10回目の  
開催となりました～

2008年7月31日(木)広島市女性団体連絡会議(ひろしま WENET)の主催で、恒例となった「ひろしま平和の灯のつどい」が行われました。

プログラムのスタートは、まだ明るい午後6時30分からの「碑めぐり」。約60人の参加で幕開けとなりました。その後、夕やみがせまる平和記念公園内に、女性や子どもたちが次々と集まりはじめ、キャンドルに灯をともし午後7時20分には、慰霊碑の前に200人ほどの参加者が集まりました。今年は特に学生の参加が多くありました。

このつどいも今年で10回目を数えることになり、毎年参加を心まちにしておられる方もあると聞きます。昨年にひきつづき、今年も平和文化センターのステーブン・リーパー理事長からスピーチをいただくことができました。

# 碑めぐり

碑めぐりには60人の参加がありました。ガイドボランティアの矢野美耶子さん、伊藤瑠美子さんの案内で、平和記念公園内に散在する慰霊碑にまつわるお話を聞きながら、当時の状況に思いをよせ、10あまりの碑を巡りました。

初めて参加された方もおられ、参加者は、それぞれ平和記念公園にある「碑」に込められたいきさつにじっと耳を傾けていました。ここに眠る人々への鎮魂の思いに、涙する方も数名ありました。



# キャンドルたてづくり



「ヒロシマ平和の灯のつどい」で使用するキャンドルたてづくりをWENET学習部が開催しました。2008年7月19日(土)10時～12時にWEプラザの会議室に30人あまりの参加で行われ、被爆体験記録などの朗読と、ろうそくたてづくりで学習と交流を行いました。

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館被爆体験朗読ボランティアの河合よねさんによる、被爆体験記録と絵本「かわいそうな像」「えんぴつびな」の朗読とろうそくたて作りとを組み合わせた内容も好評でした。

韓国から語学研修に来ていた大学生と親子で参加した方々が一緒に作成しながら楽しく交流しあい、いきいきした会となりました。韓国と日本の平和交流のひとつでした。

この他中国新聞、読売新聞にも取り上げられました。



提供：朝日新聞

# 2008 日本女性会議 とやまに参加して

2008年10月17日～18日

報告者 アルコ・デ・ヒロシマ 山本紀子

昨年多くの人々の熱い思いと力を結集して広島で開催した「日本女性会議 2007 ひろしま」。あれから一年、また新たな思いで胸をときめかせて参加しました。今回は全国から約 2500 人、広島県から 44 名が参加しました。

大会テーマは『煌く人とひと、連なる峰々へ』。雄大な立山連峰に包まれた富山らしい表現です。開会式のアトラクション 越中おわら は、実演の中に映像を取り入れた素晴らしい構成で、胡弓の哀調を帯びた音色を聞きながら、参加者一同はひと時「おわら風の盆」に見入ってしまいました。開会式の後、内閣府男女共同参画局長の板東久美子さんを講師として、「政府の男女共同参画施策の現状と今後の課題」と題して、基調報告が行なわれました。基調講演では広岡守穂さん（中央大学法学部教授）が「男女共同参画 何が变るのか？」というテーマで、新しい時代を見据えたこれからの男女共同参画について、ご自分の体験談を交えながら講演されました。続いてシンポジウムでは、広岡守穂さんがコーディネーターとなり、「みんなが輝く未来のために」というテーマで、シンポジストの鹿島敬さん（実践女子大学人間社会学部教授）高橋はるみさん（北海道知事）岩田喜美枝さん（株式会社資生堂代表取締役副社長）が、より確かな社会を構築していく上での具体的な男女パートナーシップのあり方について語られました。

夜のメイン交流会は、富山市総合体育館で開かれました。開会前、ロビーにお茶席が設けられ、皆に振舞われました。また酒どころ、お酒のピンをピンに見立てての輪投げに興ずる場もありました。富山ならではの味覚や特産がたくさん用意され、皆さん満足された様子でした。広島から参加した私たちはもみじの手袋をはめてステージに上がり、日本女性会議 2007 ひろしま実行委員長の川瀬啓子さんが「日本女性会議 2007 ひろしま」へ協力してくださったお礼と、「男女共同参画社会の実現に向けて、この会を次世代へ繋いでいきましょう。」と挨拶されました。

2 日目は 13 の分科会にそれぞれが参加しました。「性差からの解放」や「女性と表現」「科学へのチャレンジ」等をテーマにした特徴ある分科会がありました。午後からの記念講演では、加藤登紀子さん（歌手）が「土のひびき」と題して、これまでの音楽活動や自然を愛する大切さを伝える活動など、様々な経験を通して、一人の女性として妻として生きてきた思いを、熱く語られました。参加者も彼女の歌と語り感動しステージとホールが一体となった記念講演でした。

閉会式、大会宣言に続いて、「継承の夢」と題して、小学生や中学生・若者達が希望する社会についての作文を読みました。最後に、次年度開催される堺市から「女性の自立と解放をうたった与謝野晶子を生んだ「堺」から、原点にかえり、一緒に考え行動する機会にしたい。多くの皆様とまたお会いしましょう！」と力強いアピールがありました。

開催日：2009年10月30日(金)

～10月31日(土) 場所：堺市民会館ほか



## 平成20年度 広島市女性団体連絡会議 幹事

	団 体 名	氏 名
会 長	広島市女性教育センター女性団体・グループ連絡会	信政 ちえ子
副会長	安芸コスモスゾントクラブ	小畠 知恵子
副会長	広島市地域女性団体連絡協議会	西田 志都枝
書 記	(社)広島県看護協会	沼田 郁子
書 記	(社)日本助産師会広島県支部広島市助産師会	有地 美奈子
会 計	アイ女性会議広島支部	貴田 月美
会 計	広島市未来を考える女性の会	藤永 雅子
監 事	特定非営利活動法人ひろしま女性NPOセンター未来	中島 典子
監 事	(財)広島市母子寡婦福祉連合会	進藤 功子

## デートDV防止セミナー（開催予告）

WENETでは、毎年、DV（ドメスティック・バイオレンス）防止セミナーを開催してまいりました。

今年も下記のとおり学習会の開催を企画しています。今年度は、デートDV(恋人関係の男女における暴力)について、現場の先生方むけのプログラムとなっています。

日 時 2009年2月19日(木) 15時～17時

場 所 WEプラザ (広島市女性教育センター) 3階 視聴覚室

講 師 山口のり子さん (アウェア(デートDV防止セミナー実施団体)代表)

対 象 高等学校教職員

テーマ 「デートDVの本質を知る」(仮題)

主 催 広島市、広島市女性団体連絡会議(WENET)



### 編集後記

広島市で日本女性会議が開催されてから早くも1年が過ぎました。今年の富山での大会も大変盛り上がったようです。昨年の開催によって、私たちが本当に得たものはどんなものだったのでしょうか。一年経った今、一人一人が少しずつじっくりと考えながら、行動に移し始めたりする 때가近づいているようです。(智)

WENETニュース 第26号 平成20年11月30日

発行者 広島市女性団体連絡会議(広島市市民局人権啓発部 男女共同参画課気付)責任者 信政ちえ子